

第2回 はたらく部会 報告書

令7年7月15日

開催日時	令和7年7月15日(火) 14:00~15:30	場 所	千曲市ふれあい福祉センター
部 会 員	部長:クロスロード寂蒔/副部長:しょう×ちくま/いなりやま共同作業所/満天の星/稻荷山養護学校/上田養護学校/長野技術専門学校/長野障害者職業センター/長野圏域障害者就業・生活支援センター/SAKURA長野南センター/チュークリップの家/みらい望/まいさぽ千曲/相談支援事業所Fit/千曲市社会福祉協議会/坂城町社会福祉協議会/事務局/千曲市/坂城町		(合計: 20名)

(1) 報告事項、ほか

○5/28運営委員会が開催された。石川県佛子園の村岡裕氏を招いての講演だった。
 佛子園ではB型就労で温泉施設を運営しており、地域コミュニティを大切にしながら、地域の活性化を図っている様子が紹介された。
 ○6/11地域連絡会が開催された。各部会から年度計画の報告があり、部会同士の連携について意見が出された。
 ○就労選択支援に係る状況について、副部長から報告があった。
 千曲坂城地域では、しょう×ちくまが10月からの実施に向けて準備を進めている。佐久地域では、しょう×あさまが実施する予定である。進捗状況は地域によって様々なので、動向を見守っていきたい。

(2) 協議事項 および 内容

○研修会

『一般就労に向けた関係機関との連携』について(副部長)

障害保健福祉施策の歴史と障害者雇用施策の歴史を概観すると、身体障害については1976年から法定雇用率の算定基礎対象になったものの、知的障害が含まれたのは1998年、精神障害までカバーされるようになったのは2018年になってからで、障害者雇用施策の歴史は端緒についたばかりである。
 就職を希望する障害者のサポートには、雇用施策と福祉施策の両方が必要であり、両者が連携することでより良い支援につながることから、1つの事例を用いて実際にどのような支援がおこなわれたのかを紹介したい。
 紹介した事例では、ハローワークやナカボッセンター、職業センター、技術専門校がそれぞれの機能を活かして支援に関わってくれたことで成果につながった。
 教訓としては、就職希望先の企業も含めた関係機関が緊密に連携し、情報交換をしながら、チームとして支援にあたっていくことが大切だということである。

○グループワーク

「一般就労を目指しての支援」グループと「一般就労を望まない人の支援」グループに分かれて、各グループ内で意見交換をおこなった。

主な意見は以下のとおり。(様々な意見の一部のみ抜粋)

- ・ B型事業所の居心地が良くて、一般就労を目指さない方もおられるが、高齢で一般就労が難しかったり、ご家族が一般就労を勧めなかつたりと、一般就労につながらない理由は千差万別である。
- ・ B型事業所に通所している方は、障害の程度も含めて非常に多様であり、一括りに支援することはできない。
- ・ なかにはB型事業所の作業が難しい方もおられるが、生活介護事業所が足りておらず、そうした方の支援をB型事業所が担っている部分もある。
- ・ 毎月求人情報を掲示するなどして、情報を提供すれば、利用者はしっかりと観てくれるので、別の選択肢につながるかもしれない。
- ・ B型事業所としても作業をこなせる利用者には残ってほしいのが本音である。

最後に、グループで話し合った結果を全体で共有した。

○その他

9月頃、就労選択支援の勉強会を開催する予定。

12月13日、全体会では、販売会や事業所説明会、体験コーナー等を設ける予定。

9月16日、なかほつで定着支援の講演会を開催予定。出席者募集中。また、青木固研究所で清掃作業の求人あり。

10月7日、職業センターで研修会を開催予定。出席者募集中。

10月10日、千曲市福祉大会にて、菊池弁護士が成年後見について講演予定。出席者募集中。

9月頃、長野技術専門校でPC関連の研修を実施予定。参加者募集中。

(3) 結果

令和7年度第2回はたらく部会はすべての審議が完了した。

地域連絡会で検討したい課題 []

(4) その他 (お知らせ・次回開催日など)

次回開催 令和7年10月21日(火)14時~ @ふれあい福祉センター
 テーマに関する事前アンケートを実施する予定。